

会 議 録

会 議 名	佐野市立出流原小学校・佐野市立赤見小学校統合準備委員会 通学部会 令和7年度 第1回会議
日 時	令和7年7月16日（水） 午後6時30分～午後7時5分
場 所	赤見地区公民館 2階 第1会議室
出 席 者	<p>【参加者】（9名） 別紙「部会員名簿のとおり」 （欠席者 1名）</p> <p>【事務局】（計11名） 佐野市教育委員会 教育部 教育部長 学校適正配置課 課長、係長、係員5名</p> <p>佐野市都市建設部 交通政策課 課長、係長、係員1名</p> <p>【傍聴者】（1名）</p>
配 付 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿 ・ 資料1 統合に係る概要 ・ 資料2 佐野市立出流原小学校・佐野市立赤見小学校統合準備委員会設置要綱 ・ 資料3 佐野市立出流原小学校・佐野市立赤見小学校統合準備委員会専門部会設置方針 ・ 資料4 実施体制 ・ 資料5 統合までのスケジュール ・ 資料6 赤見小・出流原小在籍児童居住地位置図
委員会内容	<p>委員会の内容については以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 司会（学校適正配置課長） 2 出席者紹介（自己紹介） 3 概要説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局から資料1から5を基に説明。質疑なし。 4 部会長及び副部会長の選任について <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長・副部会長を選任。 部会長：出流原小学校 教頭 副部会長：赤見小学校 教頭

5 議事

(1) 通学手段について

- ・事務局から資料6を基に説明。
- ・交通政策課から口頭で児童の通学手段について説明。
- ・部会員からの質疑等は以下のとおり。

(部会員1)交通政策課が検討しているのは、遠距離支援のみの対応で公共交通を使用するということか。

(事務局(交通))当課で説明した遠距離とは、学校適正配置課で説明した3キロ円の外側に居住する児童であり、その児童に対して支援を行うことである。

(部会員1)他の学校区でも遠距離支援について検討し、赤見地区でも実情に合った支援が必要と考えているが、事務局で協議しているか。

(事務局(学適))前提として、小学生は原則、徒歩である。文科省は、4キロ以上が遠距離通学の基準として定めている。出流原小学校と赤見小学校の児童の居住地を調査したのが資料6である。その中で、大部分は赤見小学校を中心とした2キロ円の範囲に居住している。赤見小学校はすべて徒歩であるため、実情を踏まえ、同程度の部分は徒歩である。ただ、3キロ円の外側に居住している児童は、今までよりも明らかに距離が遠くなるため、手当てを検討したい。

(部会員1)文科省の基準で4キロと定めているが、現実的でない。市全体で検討してほしいのは猛暑である。義務教育学校の整備も進めていると思うが、通学に関して、佐野市独自の方針を作るべきだと考えている。赤見地区でこのように決定したという事例ができるとそれが市の基準となる。今後、田沼や葛生で通学手段が変更の可能性もあると思うが、最優先すべきなのは児童の安全、命である。地域の特性も含めて検討してほしい。交通の安全性は担保されないといけないため、支援は距離に限ったことではない。危機管理課主導で「ながら見守り」を実施していると思うが、どのくらいいるのか、数字は把握しているのか。今は子ども110ばんの家も減っていると聞いた。安全性について一緒に協力してくださいというのを教育委員会で声をあげてる感じがしない。ながら見守りも赤見地区では浸透していないと思われる。2月17日に要望書を提出した理由のひとつとして、出流原小学校入学予定者の急激な減少である。今後、児童や見守る人が減っていくうえで、距離だけでなく危険がないよう赤見小学校区も含めて通学に係る手当の範囲を広く適用してほしい。

(事務局(学適))3キロ円の外側に居住している児童に手当てする提案をしたが、2キロ円付近で徒歩で通っている児童は他の学校区でも多くいる。暑さの問題は、他の地区からも意見が

	<p>出ているが、佐野市全域の問題となるため、児童の通学とは別に切り離して考えてほしい。</p> <p>(部会員1)今回、事務局からの提案を基に次回の8月8日の会議で回答することでよろしいか。</p> <p>(事務局(学適))そのとおり。提案に対して意見を次回の会議でいただきたい。</p> <p>(部会員1)時間的に間に合うのか。意見するため、提案ありきでなく、提案に対して回答するという認識でよろしいか。</p> <p>(事務局(学適))通学に係る事項はそのとおり。しかし、令和9年4月1日の統合を目標とすると今年の12月議会に上程をしなければ、関係機関との調整ができない。また、上程は、統合に係る検討事項もある程度決定しないと進めることができない。結果的に統合が想定より遅れる可能性もあるが、早く終わらせたり、次で必ず決めるということはない。ただ、物事が進まないで統合が延びることはご承知おき願いたい。</p> <p>(部会員1)今回知りたかったのは、赤見地区のこども110ばんの家とながら見守りの件数である。現在、何件の協力が得られているのか次回の会議までに、教えてほしい。</p> <p>(事務局(学適))数字を持ち合わせていないため、調べて回答する。こども110ばんの家とながら見守りは登録して実施しているか不明であるため、件数を提示できるか分からないが、調査する。</p> <p>(部会員1)安全に配慮していることや気を付けなければならないポイントなどわかるかもしれないので情報提供をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議の結果、事務局の提案を基に8月8日(金)開催の第2回通学部会で運行形態及び適用する範囲について回答を求める。 ・第2回通学部会について、事務局から補足で連絡。 <p>(事務局)こども110ばんの家、ながら見守りの件数等は、事前にお知らせする。また、次回の会議資料も事前に送付するが、今回の提案を踏まえ進行する予定である。新しい資料がない場合は、今回の資料をベースに検討する。その際は通知等でお知らせする。</p> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会員からの質疑は以下のとおり。 <p>(部会員)地区で通学に関心を持っている人がいれば、傍聴は可能か。</p> <p>(事務局)可能である。</p> <p>7 閉 会</p>
--	--